



森田真生

数学の身体性と普遍性

数学とはいかなる営みか
数学がわかるとはどのような現象か
教育という営みを絡ませながら
これらの難しくも奥ゆかしい問いに迫ります

2018.07.28 Sat

13:00-16:00

広島大学中央図書館
1Fライブラリーホール



1985年、東京都生まれ。独立研究者。東京大学理学部数学科を卒業後、独立。現在は京都に拠点を構え、在野で執筆・研究活動が続ける傍ら、全国各地で「数学の演奏会」や「大人のための数学講座」、「数学ブックトーク」など、数学に関するライブ活動を行っている。デビュー作『数学する身体』（新潮社）で第15回小林秀雄賞を受賞。そのほか著書に『アリになった数学者』（福音館書店）、編著に『数学する人生』（新潮社）がある。

主催／科研基盤研究(B)「教室での知識の創出と進化を促す学習
作業空間の構成に関する総合的研究」（代表 影山和也）

共催／広島大学 教育ビジョン研究センター (EVRI)

参加申し込み・問い合わせ先 EVRI事務室 / evri-info@hiroshima-u.ac.jp 内線5265
当日参加も可能です。資料準備の都合上、事前にお知らせいただくと幸いです。

